

緊急事態宣言下における区の実組について

緊急事態宣言が発出されます。発出期間が大型連休に重なり、人の移動や人との接触を抑制しやすいタイミングであることから、区では感染拡大防止対策に集中的に取り組んでまいります。

区内での感染者の多くは 20 代から 30 代の会社員・学生で、飲食店に限らず友人や仕事仲間とレンタルルームや自室での「部屋呑み」等を通じて感染している事例が増えています。そうした感染者が、家庭内にウイルスを持ち込むことにより、家庭内感染が増加しています。また、職場でのランチタイムや休憩室での会話により感染が広がる事例も散見されています。必ずしも、飲食店だけが感染拡大の原因ではありませんが、マスクを外した会話が増える場所であり、多くの飲食店が所在する自治体として、感染拡大防止に取り組めます。

感染拡大防止の主な取組

1. 主要な飲食店街を中心に、感染拡大防止対策と時短営業の要請期間中であることを説明するため、警察消防と共に夜間パトロールを実施する。
2. 混雑が発生しがちな商店街や公園で密集を作らないように 3 台の広報車によって呼びかける。
3. 防災無線により、正午に「基本的な感染予防」を、夕方に「外出の自粛」を呼び掛ける。

令和 3 年 4 月 23 日

新宿区長 吉住 健一